研究開発課題概要

申請年度:2025年度

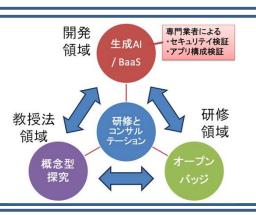
研究代表者:愛媛大学教育学部 教授 富田英司

課題名

生成AIアプリで校内クラフト文化を育む概念型研修パッケージ

プロジェクトの概要

生成AIの能力向上により、非エンジニアによるアプリ開発が可能になった。本研究は、教育委員会と連携して、児童生徒の実態に応じた学習支援ウェブアプリを内製開発する文化を育む包括的なサービスパッケージを開発する。



ビジネスモデル(申請時)

概念型探究と呼ばれる教育手法、生成AIとBaaSによるアプリ開発、オープンバッジという3つの既に確立された技術を組み合わせて、学校教育のさまざまな問題を内製ウェブアプリによって解決するような学校教育文化を醸成する研修とコンサルテーションをおこなう。

活動計画(申請時)

地域の教育委員会と連携し、各地域の学校の状況に応じた生成AIアプリ内製文化を醸成するために以下のステップで進める。

段階1:教育委員会と共同でウェブアプリを開発し、モデル校で試験運用を実施

段階2:生成AIアプリを各学校で開発・運用を進めるために必要なスキルと知識を特定

段階3:生成AIアプリの開発・運用に必要なスキルと知識を学ぶ概念型研修を開発

段階4:実際の地域運用を開始する前にセキュリティ面で専門業者から指導と助言を受けて

各学校で実践展開し、その成果を知財化する